

夫婦都市 “滋賀県・近江八幡市” 親善訪問

富士宮市議会は、10月24、25日に夫婦都市である滋賀県の^{おうみ はちまん}近江八幡市を親善訪問しました。訪問中は、ヴォーリズ学園、環境エネルギーセンター及びスポーツ交流施設の視察などを行いました。

【ヴォーリズ学園視察】

リップクリームでおなじみのメンソレータムとメンタームの違いはご存じでしょうか？メンソレータムはロート製薬の製品で、メンタームは近江兄弟社の製品で実は違うものなんです。

今回はその近江兄弟社の創業にかかわったヴォーリズ氏が設立した学園の視察に伺いました。建築士としてのヴォーリズ氏が設計した歴史的な建造物や海外との交流を示す展示や外国人講師による授業など私立学校だからこそできる教育環境を見ることが出来ました。そういった中から少しでも富士宮市に取り込めるものはないのか、各議員が真剣な眼差しで施設や授業見学を行いました。



【環境エネルギーセンター視察】

この施設は、1日に50～60tのゴミを受け入れています。これだけ小規模な施設にも関わらず、発電機能を備える施設は全国的にも稀です。また、ゴミの焼却熱を無駄なくエネルギー利用する環境面、発電し売電して収入も増えるという経済面、災害時に必要な電力を確保し市民に貢献する社会面を兼ね備えた素晴らしい施設を視察しました。



【健康ふれあい公園視察】

隣接している環境エネルギーセンターの余熱を利用した温水プール、建設事業費6億6204万円、床面積3014平方メートルの屋根付き人工芝グラウンド（ゲートボール6面、テニスコート3面、フットサル2面）を有する素晴らしい施設を視察しました。

また、両市議会議員による、ウォーキングサッカーなどを行い、交流を深めることも出来ました。

